

東京都シニアサッカー連盟 行動指針

東京都シニアサッカー連盟は、生涯スポーツとしてのサッカーが持つ力を活かし、東京都内はもとより、地域、国境、そして世代を超えて友情の輪を広げていきます。日本サッカーの最年長カテゴリーとして、あらゆる世代の模範となることを目指します。

その基盤となるのは「安全(SAFE)」「公正(FAIR)」「敬意(RESPECT)」の三つの柱です。

安全(SAFE) :

運営は安全を最優先とし、選手は「ケガをしない・させない」プレーを徹底します。誰もが安心して、真剣にサッカーを楽しめる環境を守ります。

公正(FAIR) :

運営は公正中立を重んじ、選手はフェアプレーを実践します。勝敗以上に「正々堂々と戦う」姿勢を大切にします。

敬意(RESPECT) :

仲間、対戦相手、審判、運営、そしてサッカーを支えるすべての人に敬意を払います。その姿勢が東京シニアの品格であり、サッカーの価値を高めます。

東京都シニアサッカー連盟は、この行動指針を加盟チーム全体で共有し、日常の活動、大会、地域・国際交流の場で実践していきます。

シニアサッカーの魅力と可能性を、次の世代へつないでいきます。

2026年1月
東京都シニアサッカー連盟
委員長 末永孝彦